

佐倉市GIGAスクール構想の実現へ ～1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」～

GIGAスクール構想とは、令和元年12月に文部科学省が発表した一連の教育改革案のことです。

**GIGAは「Global and Innovation Gateway for All」
(全世界とイノベーションへの扉をすべての子どもたちへ)の略語です。**



GIGAスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

これまでの
教育実践の蓄積

×

ICT

=

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの
授業改善

※文科省「GIGAスクール構想の実現へ」より



佐倉市教育委員会

佐倉市GIGAスクール構想

佐倉教育ビジョンに基づく施策「**確かな学力の向上**」

「わかる授業」「楽しい授業」を実践し、「もっと学びたい」という意欲を高めるとともに、各教科や総合的な学習の時間では、自ら課題を見つけ、自ら解決する力や学び合いなどを通じてコミュニケーション能力を育てていきます。また、保護者との連携を図りながら家庭学習の習慣化を図ります。

さらに1人1台タブレット端末で



佐倉市の教育が変わる！
さらに「わかる授業・楽しい授業」へ

佐倉市教育委員会





佐倉市GIGAスクール構想 学びのイメージ



ステップ4



個別最適 × 協働的な学びで主体的・対話的な深い学びの実現

- 児童生徒がICTを活用して自ら学習状況を把握し、主体的に学習を調整する。
- 異なる考え方をICTを活用して組み合わせ、より良い学びを生み出す。
- 予測不可能な未来社会の形成に参画できる学びを児童生徒と教師で創る。

ステップ3



ICTを活用し、児童生徒が教師と共に学び方を決める

- AIドリルで学ぶ。
- 様々な情報を主体的に収集、整理、分析する。
- 推敲しながら長文を作成する。
- 写真や音声、動画などを用いた多様な資料、作品の作成。
- つながる相手を自ら選択して協働する。

ステップ2



ICTを活用する（児童生徒が効果的に学べるよう教師が学び方を支援する）

- 動画や写真を撮影する。
- 文章を作成する。
- インターネットなどを使い、検索する。
- 作品や意見へ相互にコメントする。
- 小テストをタブレットで行う。
- 新聞などをクラウドで共同製作する。
- 情報を共有する。

ステップ1



ICT機器操作ができる

- 機器の使用方法や取り扱い方について知る。
- 基本的な技能を身に付ける。
- 情報モラルについて学ぶ。
- ログインや保存、提出などの基本操作ができる。
- ルールを守って安全に活用する。

ICTの具体的な活用場面（小学生）

国語

自分の考えを整理し、伝え合う活動を通して、思考力・表現力を育成する

活用場面の例

物語文を読んで、心に残った場面や登場人物の気持ちについて、自分の考えをまとめ、友達と交流する。



ICTの活用

- ・ミライシード(オクリンクプラス)で、自分の考えをカードにまとめる。
- ・友達のを共有し、比較・検討する。
- ・コメント機能を使って、感想を伝え合う。



使用するツール(例)

ミライシード
(オクリンクプラス)

考えを可視化・共有することで、主体的・対話的な深い学びにつながる。

算数

問題解決の過程を可視化し、理解を深める

活用場面の例

図形の面積の求め方を考え、考え方を説明し合う。自分の解き方を振り返り、理解を深める。



ICTの活用

- ・オクリンクプラスで、図形を動かしたり、分割・合成したりして考える。
- ・自分の考えを図や式で表し、共有する。
- ・AIドリルで、つまづきに応じた問題に取り組み、理解を深めさせる。



使用するツール(例)

ミライシード
(オクリンクプラス)

eライブラリ
アドバンス



視覚的に考えを整理し、個別最適な学びと協働的な学びを実現する。

体育

自分の動きを客観的に見て、課題を見つけ、改善につなげる

活用場面の例

走り高跳びの練習を行い、自分の跳び方を動画で撮影し、課題を見つけて改善する。



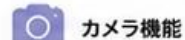
ICTの活用

- ・タブレットで自分の動きを撮影する。
- ・動画を見て、良い点や友達点を見つける。
- ・友達と動画を見せ合い、アドバイスをし合う。



使用するツール(例)

ミライシード
(オクリンクプラス)



カメラ機能



動画再生機能

自分の動きを客観的に分析し、課題解決に向けて主体的に取り組むことができる。

総合的な学習

探究的な学びをICTで支え、情報を整理・発信する力を育てる

活用場面の例

地域の課題解決について調べ、まとめた情報を発表資料にして、みんなに伝える。



ICTの活用

- ・インターネットで情報を調べ、ミライシード(オクリンクプラス)に整理する。
- ・写真やグラフを使って、わかりやすくまとめる。
- ・クラウド上で共有編集し、発表資料を作成する。



使用するツール(例)

ミライシード
(オクリンクプラス)

情報を主体的に収集・整理・発信する力を育て、社会に参画する意識を高める。

ミライシードとは？

ミライシード
(オクリンクプラス)

ベネッセが提供する、学習支援ソフト。オクリンクプラス(カード作成・共有)、AIドリルなど、子どもたちの考えを可視化し、協働的な学びを支援する機能が充実しています。



eライブラリとは？

eライブラリ
アドバンス

ライズ株式会社が提供する、デジタル教材サービス。一人ひとりの理解度に応じたドリルや、教科書に対応した教材で、確かな基礎学力を実現します。



ICTの具体的な活用場面（中学生）

国語

自分の考えを深め、比較・検討しながら表現する

活用場面の例

文章を読解、著者の主張や表現の工夫について、自分の考えをまとめ、交流する。



ICTの活用

- ・ミライシード(オクリンクプラス)で、自分の考えを整理してカードにまとめる。
- ・友達の考えと比較し、共通点や相違点を見付ける。
- ・コメント機能を使って、根拠を明確にしながら意見を伝え合う。



使用するツール(例)

ミライシード
(オクリンクプラス)

考えを可視化・共有することで、思考を深め、表現力を高める。

理科

観察・実験の結果を整理・分析し、科学的に考察する

活用場面の例

実験結果を比較し、変化の規則性や関係を考察する。



ICTの活用

- ・実験や観察の様子をタブレットで記録する。
- ・表やグラフに整理し、結果を比較・分析する。
- ・シミュレーションやデジタル教材を活用して、現象の理解を深める。



使用するツール(例)

ミライシード
(オクリンクプラス)

eライブラリ



観察・実験データを可視化し、根拠をもとに科学的に考える力を育てる。

社会

資料を読み取り、多面的・多角的に社会を考える

活用場面の例

統計資料や地図、歴史資料を活用し、社会的事象の背景や課題を考える。



ICTの活用

- ・インターネットやデジタル資料で情報を収集する。
- ・グラフ、地図、年表などを比較し、根拠をもとに考察する。
- ・調べた内容をまとめ、発表資料として共有する。



使用するツール(例)

ミライシード
(オクリンクプラス)

多様な資料を活用し、社会的な見方・考え方を働かせて学びを深める。

技術・家庭科

生活やものづくりの課題を見つけ、計画・改善につなげる

活用場面の例

製作や調理、生活設計の活動を通して、課題を見つけ、改善方法を考える。



ICTの活用

- ・作業工程や材料の記録を写真や動画で残す。
- ・設計や手順を整理し、見通しをもって活動する。
- ・完成後に振り返りを行い、改善点を共有する。



使用するツール(例)

ミライシード
(オクリンクプラス)

カメラ機能

動画再生機能

記録と振り返りを通して、実践的・体験的な学びを深める。

ミライシードとは？

ミライシード
(オクリンクプラス)

ベネッセが提供する、学習支援ソフト。オクリンクプラス(カード作成・共有)、AIドリルなど、子どもたちの考えを可視化し、協働的な学びを支援する機能が充実しています。



eライブラリとは？

eライブラリ
アドバンス

ライズ株式会社提供、デジタル教材サービス。一人ひとりの理解度に応じたドリルや、教科書に対応した教材で、確かな基礎学力を実現します。



職員研修



ICT支援員と連携した研修

ICT支援員と連携し、学校の実情に合わせた実践的な研修を実施します。

- 端末の操作や設定を学ぶ
- アプリやツールの活用を体験する
- 授業での支援やトラブル対応を学ぶ



教育委員会の伴走支援研修

教育委員会が学校のニーズに寄り添い、授業づくりやICT活用を支援します。

- 授業設計や活用方法のサポート
- 学校の課題に応じた研修を実施
- 訪問支援やオンライン相談を実施



ICT活用のオンライン研修

Teams等を活用したオンライン研修で、いつでもどこでも学ぶことができます。

- オンラインで学べる研修を定期開催
- 実践事例や教材を共有・活用
- 録画視聴で自分のペースで学習



教職員同士の授業参観

互いの授業を見合い、良い実践を共有し、授業力の向上につなげます。

- 授業参観で工夫や成果を学ぶ
- 事後の振り返りで意見を交流
- 気づきを共有し授業改善へつなげる



多様な研修を通して、教職員のICT活用力と授業力の向上を図る。



令和8年度の目標

児童生徒の目標

ICTを活用し、児童生徒が教師と共に学び方を決める

- 児童生徒が個々の学習状況・内容に応じて学習支援ソフト等を選択・有効活用し、他者と協働しながら学ぶことができる。
- 家庭学習でも、学習支援ソフトを活用できる。



佐倉市教育委員会

令和8年度の目標

教職員の目標

授業にICTを活用して指導する能力 肯定的回答90%以上達成

- 児童生徒の意見を効果的に集約・提示できる。
- 児童生徒の特性や学習進度等に応じ、ICT・AIを活用して指導方法・教材等の柔軟な提供・設定を行う。
- 児童生徒が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促す。



佐倉市教育委員会